

GHCHてつなぎ荘事業 平成27年度事業計画(案)

1. 運営状況
- * 入居定員及び入居人数及び動向
 - てつなぎ荘 定員7名 満室
 - てつなぎ抱夢 定員5名 満室
 - 共生型ほんわかホーム 定員6名(給付対象 5名・対象外高齢者用居室 1名)
:高齢者用居室が空室(現在調整中)
 - * 短期入所事業
 - てつなぎ荘にて実施 定員1名 随時利用
 - * 給付対象外事業
 - :てつなぎ荘(ほんわか舎)空室利用にて短期入所受入れ事業
実費負担にて利用可(1食300円・1泊2000円)
2. サービス体制
- ほんわかホーム 担当職員 5名(交代勤務制)
:早出・遅出・夜勤(宿直)・明け・公休の5交代勤務
:常勤換算値における配置要件(生活支援員)
- てつなぎ荘 担当職員 1名 応援職員 9名
:平日(宿直)・休日(日中活動休業時含)日勤+宿直
- 世話人(主に食事) 3名
:常勤換算値における配置要件(世話人)1棟に対し 1名
- | | | |
|--------|---------|-------------------------------|
| 食事提供状況 | てつなぎ荘 | 第1第3水曜以外世話人にて
第1第3水曜は職員対応 |
| | てつなぎ抱夢 | 毎日、荘より配達 |
| | ほんわかホーム | 火木全部第2第4水曜は世話人担当
他はすべて職員対応 |
3. 重点目標
- ① 職員間の連携強化及びサービスの向上を計る
- 目的 職員間の情報共有を強化していくため、毎週月曜日にミーティングを実施
:各種勉強会を通しての研修の場としても活用。
:虐待防止の徹底、法令順守に努めサービスの質の向上をはかる。
- ② 当事者へのサービスの質の向上
- 目的 余暇支援を拡充し、更なるニーズに答えていくことで質の向上を計る。
:外出支援に買い物や小旅行を加え、散歩や日光浴なども行う。
:季節や天候の変化を感じられる活動を行う。
- ③ 収益向上をはかる(経費削減を含む)
- 目的 各消費物品の調達方法の見直しによる経費削減
:食材・生活消耗品の一元管理(購入及び配布、在庫管理)による経費抑制。
- 新規グループホームの開設
:サテライト型は法人で建物を取得する必要がある、計画的に検討する。
:公営住宅の借入、休眠宿泊事業の活用など検討していく。